

平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月20日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンワドー

コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役商品開発担当 兼管理担当 (氏名) 後藤 昭一

TEL 017-782-3200

四半期報告書提出予定日 平成23年7月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の連結業績(平成23年2月21日～平成23年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	7,289	7.6	243	111.3	228	154.6	△60	—
23年2月期第1四半期	6,773	△3.8	115	90.5	89	143.7	△14	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	△11.44	—
23年2月期第1四半期	△2.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第1四半期	17,955	4,293	4,293	23.9	813.30	
23年2月期	17,800	4,515	4,515	25.4	855.36	

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 4,293百万円 23年2月期 4,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,150	5.0	305	1.6	295	8.4	△15	—	△2.84
通期	30,300	3.4	510	3.4	500	12.4	100	△27.4	18.94

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]5ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 24年2月期1Q 5,280,000株 23年2月期 5,280,000株
② 期末自己株式数 24年2月期1Q 528株 23年2月期 528株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 24年2月期1Q 5,279,472株 23年2月期1Q 5,279,641株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 . その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3 . 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対諸表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年2月21日~平成23年5月20日)につきましては、平成23年6月9日内閣府発表の1~3月期GDP速報値の改定値は年率換算で上方修正されたものの、本年3月11日に発生した東日本大震災により国内経済は依然、供給面の制約が解消されず、個人消費の低迷及び公共事業や民間設備投資の落ち込みが続き、先行は不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループは防災用品や住宅資材をはじめとした災害復興関連商品の確保に努め、また昨年より継続しておりますお買得商品「家計応援」ロープライス戦略の商品選定見直しの実施、既存店舗の食品強化を盛り込んだ改装を行い増収を図りました。一方、広告宣伝費の絞込みや、ワークスケジュールの精度を上げることで人時生産性の向上を進め、販売管理費の圧縮に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,289百万円(前年同第1四半期比7.6%増)、営業利益は243百万円(前年同四半期比111.3%増)、経常利益は228百万円(前年同四半期比154.6%)の増収増益となりました。これは、震災需要により比較的粗利率の高い定番商品の販売が伸長したことと、値下げの抑制による売上総利益が金額、率とも向上したためであります。また、特別損失が170百万円(前年同四半期比64百万円増)発生しましたが、これは資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額122百万円、東日本大震災による商品破損及び建物損壊等31百万円、東京電力株式時価下落による投資有価証券評価損14百万円計上したことによるものであります。

以上により、当第1四半期連結累計期間の純損失は60百万円(前年同四半期は14百万円の純損失)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

「リビング」

「リビング」の売上高は2,212百万円となりました。3月に青森中央店、5月にドリームサンワドー上磯店の改装を行い、売れ筋商品の拡大や値入率の高い商品の入替等を実施しました。また3月~4月にかけて震災による防災意識の高まりから乾電池、ガスボンベ、ローソク、カイロや紙類などの消耗品の売上が伸長しました。一方、新生活用品(家具、キッチン、寝具等)は販売ピークである3月後半から4月上旬にかけて、震災の影響で大きく売上が減少しました。また、家電についても、地上デジタル放送対応テレビの需要が沈静化し、冷蔵庫、洗濯機などの新生活家電は震災による消費自粛ムードの影響を受け、売上が減少しました。

この結果、セグメント利益は、特売の縮小により低粗利率商品の販売減と東日本大震災以降、高粗利率定番品の販売が伸長したことにより、0.4百万円となりました。

「食品」

「食品」の売上高は2,116百万円となりました。3月10日の青森中央1号館食品売場新設の改装オープン翌日に震災が発生し、その後青森県内各店において、精白米、カップラーメン、水等をはじめ各食品は全般的に大きく売上が伸びました。また、前年来、食品強化の改装を実施した店舗の売上は引続き順調に推移しております。

この結果、セグメント利益は60百万円となりました。

「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は、1,616百万円となりました。

「DIY」については震災の影響で引越し用品、ペイント、エクステリア等の商品供給が滞り売上が落したものの、コンパネ、合板類、波板、床材等の建築資材や防災意識の高まりにより防災用品は動きが活発になり大きく売上が押し上げました。

「グリーン」については、3月は気温低下の影響で農作業が遅れ、農業資材や肥料などが売れず、売上は減少しました。しかし4月~5月に入り、平年並みの天候となり、通常の販売状況に戻ったことと、ガスを利用する発電機が震災に伴って発生した停電対策として売上が伸びました。

「ペット」については、ペットフードが売上が伸びましたが、高額なプレミアムフード、ペット用品および水槽関係は、買い控えにより大きく売上が落しました。

この結果、セグメント利益は60百万円となりました。

「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は、1,075百万円となりました。

「カー」については、期初より夏用タイヤの早期販売およびポイント5倍セールを展開しましたが、震災の影響で買い控えがみられました。加えて、新生活シーズンに売れる車載レーダーやナビゲーション等もその影響を受け、売上を落しました。しかし、震災直後からのガソリン不足により、移動手段を自動車から自転車に切替える人が増加し、自転車は販売台数を伸ばしました。併せて電動アシスト自転車販売が好調に推移し、1台当りの単価も上がり、売上を伸ばしました。

「レジャー」については、同じく震災の影響でランタンやウォータータンク等が売上を伸ばし、増収に寄与しました。

この結果、セグメント利益は47百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ154百万円増加し、17,955百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ448百万円増加し、5,706百万円となりました。主に、春物商戦向け品揃えにより商品及び製品が316百万円増加、また、期末に比べ売上高が増加する時期であることから、受取手形及び売掛金が71百万円、現金及び預金が45百万円増加したものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ294百万円減少し、12,248百万円となりました。主に、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴い建物及び構築物等の増加78百万円がありましたが、投資有価証券が株式の時価評価により184百万円、敷金及び保証金が回収により184百万円減少したものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、8,508百万円となりました。主に、仕入高増による支払手形及び買掛金505百万円、1年内償還予定の社債100百万円、期間経過に伴う賞与引当金29百万円の増加がありましたが、約定により短期借入金および1年内返済予定の長期借入金が純額で591百万円、未払法人税等が80百万円減少したものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ392百万円増加し、5,152百万円となりました。主に、長期借入金が純額で346百万円減少しましたが、社債が純額で530百万円、新会計基準の適用による資産除去債務が215百万円増加したものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ222百万円減少し、4,293百万円となりました。主に、その他有価証券評価差額金108百万円の減少、当四半期純損失60百万円の計上、利益配当金52百万円によるものであります。

2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は485百万円となり、前連結会計年度末比42百万円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、280百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加316百万円、法人税等の支払額161百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益59百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額122百万円、仕入債務の増加505百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、155百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出52百万円がありましたが、敷金及び保証金の回収による収入211百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、391百万円となりました。

これは主に、社債の純増607百万円がありましたが、長・短借入金の純減937百万円、配当金の支払額51百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

震災の影響により景気動向は不透明な状況にありますが、当該四半期における業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成23年4月8日付決算短信の第2四半期連結累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・簡便な会計処理
重要性が乏しいため記載を省略しております。
- ・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理
該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ2,780千円減少し、税金等調整前四半期純利益は125,305千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は214,686千円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	538,002	492,878
受取手形及び売掛金	413,634	342,431
有価証券	30,000	30,000
商品及び製品	4,484,627	4,168,399
繰延税金資産	76,044	74,408
その他	164,448	150,203
貸倒引当金	596	1,065
流動資産合計	5,706,159	5,257,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,390,239	2,311,646
土地	5,437,847	5,437,847
その他(純額)	121,766	117,410
有形固定資産合計	7,949,853	7,866,904
無形固定資産		
	21,906	22,268
投資その他の資産		
投資有価証券	901,575	1,086,529
敷金及び保証金	2,868,096	3,052,732
繰延税金資産	96,512	108,448
その他	418,509	413,935
貸倒引当金	7,577	7,627
投資その他の資産合計	4,277,116	4,654,017
固定資産合計	12,248,877	12,543,190
資産合計	17,955,036	17,800,447
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,611,328	3,105,598
短期借入金	770,000	1,930,000
1年内返済予定の長期借入金	2,316,724	1,748,008
1年内償還予定の社債	990,000	890,000
未払法人税等	90,450	170,550
賞与引当金	58,715	29,365
役員賞与引当金	3,650	7,100
ポイント引当金	68,535	66,943
その他	598,965	576,740
流動負債合計	8,508,368	8,524,305

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
固定負債		
社債	2,020,000	1,490,000
長期借入金	2,482,310	2,828,640
退職給付引当金	220,348	216,286
役員退職慰労引当金	70,950	70,740
資産除去債務	215,795	-
その他	143,481	154,605
固定負債合計	5,152,885	4,760,271
負債合計	13,661,254	13,284,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	2,879,594	2,992,804
自己株式	261	261
株主資本合計	4,331,163	4,444,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,380	71,497
評価・換算差額等合計	37,380	71,497
純資産合計	4,293,782	4,515,870
負債純資産合計	17,955,036	17,800,447

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)
売上高	6,773,191	7,289,689
売上原価	5,292,890	5,659,580
売上総利益	1,480,301	1,630,108
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	513,568	535,278
広告宣伝費	87,825	74,005
不動産賃借料	240,690	233,886
賞与引当金繰入額	29,605	29,350
役員賞与引当金繰入額	3,551	3,650
ポイント引当金繰入額	56,892	68,535
退職給付費用	11,025	6,966
その他	422,021	435,223
販売費及び一般管理費合計	1,365,181	1,386,897
営業利益	115,120	243,211
営業外収益		
受取利息	3,154	2,907
受取配当金	288	897
不動産賃貸料	9,200	6,213
保険解約返戻金	-	10,735
その他	15,439	21,640
営業外収益合計	28,083	42,395
営業外費用		
支払利息	32,733	29,603
社債発行費償却	15,645	22,676
支払保証料	1,910	708
その他	3,030	3,766
営業外費用合計	53,320	56,753
経常利益	89,883	228,852
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	930	50
貸倒引当金戻入額	124	579
特別利益合計	1,054	629
特別損失		
固定資産売却損	-	13
固定資産除却損	-	1,595
投資有価証券評価損	-	14,760
災害による損失	-	31,561
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	122,524
退職給付制度終了損	105,591	-
特別損失合計	105,591	170,453
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	14,653	59,028
法人税、住民税及び事業税	54,440	85,843
法人税等調整額	54,252	33,600
法人税等合計	188	119,443
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	60,415
四半期純損失()	14,841	60,415

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	14,653	59,028
減価償却費	47,794	53,669
災害損失	-	31,561
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	122,524
退職給付制度終了損	105,591	-
売上債権の増減額(は増加)	61,347	72,616
たな卸資産の増減額(は増加)	252,935	316,227
仕入債務の増減額(は減少)	301,330	505,663
その他	74,182	96,953
小計	199,962	480,557
利息及び配当金の受取額	3,876	4,120
利息の支払額	41,173	32,881
保険金の受取額	11,615	609
法人税等の支払額	75,776	161,211
災害損失の支払額	-	11,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,502	280,166
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	9,174	52,115
投資有価証券の取得による支出	1,979	2,194
投資有価証券の売却による収入	-	40,210
敷金及び保証金の差入による支出	26,491	26,491
敷金及び保証金の回収による収入	63,608	211,152
その他	11,357	15,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,605	155,279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,265,000	1,350,000
短期借入金の返済による支出	860,000	2,510,000
長期借入れによる収入	1,215,000	725,000
長期借入金の返済による支出	1,835,144	502,614
社債の発行による収入	584,354	977,324
社債の償還による支出	330,000	370,000
配当金の支払額	51,450	51,250
その他	5,105	10,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,345	391,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,807	1,612
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	93,955	42,290
現金及び現金同等物の期首残高	318,218	443,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	412,173	485,804

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

小売業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品のカテゴリーごとの区分管理をしており、各商品の特性や特徴から地域や時期等にあわせて商品調達ならびに販売を行っております。

そのため、当社は商品カテゴリー群のセグメントから構成されており、「リビング」、「食品」、「DIY & グリーン」、「カー&レジャー」の4つを報告セグメントとしております。

当社の報告セグメントの種類並びにカテゴリーは、以下のとおりであります。

(1) リビング

家電、日用雑貨、ブランド、季節・催事用品、家庭用品、衣料・服飾、文具、インテリア、シューズ、玩具、100円ショップ、たばこ

(2) 食品

食品、業務スーパー、生鮮、酒

(3) DIY & グリーン

大工用品、エクステリア、リフォーム、園芸用品、ペット用品

(4) カー&レジャー

カー用品、釣り用品、スポーツ・レジャー用品、自転車

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成23年2月21日至平成23年5月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー-& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,212,324	2,116,086	1,616,184	1,075,840	7,020,436	269,252	7,289,689	-	7,289,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,665	2,665	2,665	-
計	2,212,324	2,116,086	1,616,184	1,075,840	7,020,436	271,918	7,292,354	2,665	7,289,689
セグメント利益	487	60,753	60,707	47,715	169,663	2,529	172,192	71,018	243,211

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカーおよび自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額71,018千円には、支払利息の調整額29,603千円、社債発行費償却の調整額22,676千円、支払保証料の調整額708千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額14,250千円および当社グループ間売上に係る調整額3,780千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。